

令和3年度学校評価報告書

北海道教育委員会教育長 様

北海道訓子府高等学校長
大 槻 健 治 印

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) コロナ感染症対策の徹底を目指す。
(2) 高校魅力化に向けたカリキュラムマネジメントの推進。
(3) ICTを活用した授業の魅力化に取り組み、自ら学ぶ意欲の向上と進路実現を目指す。
(4) 地域（特に訓子府中学校）との連携を図り、ふるさと教育を積極的に推進する。
(5) 【※育成すべき資質能力】を身に付けた生徒の育成を目指す。
※基礎学力、傾聴力、情報収集力、課題対応力、自己表現力、主体性、協働性、自己管理能力
コミュニケーション力

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	・学校運営に主体的に参画し、学校魅力化に係る取組やふるさと教育等の充実が図られている。 ・学校安全の確保や施設設備の適切な管理等、教育環境の充実が図られている。 ・育成すべき資質能力の向上に向けた教育活動の推進が図られている。	・学校PR方法やふるさと教育の充実が図られており、更なる学校の魅力化を期待している。 ・学校安全に努め、学校設備を有効に活用した授業が展開されている。 ・ICTを活用した教育活動の充実等、更なる資質能力の向上に向けた取組を期待している。
改善方策	・スクールミッション及びスクールポリシーを基盤とした教育計画や評価の実施に努める。 ・積極的な学校評価の活用により、更なる教育活動の充実を図る。 ・地域及び保護者や同窓会との連携を深め、より一層魅力ある学校教育を推進する。	
教育課程・学習指導	・生徒の多様な進路実現を目指す教育課程の編成と、その工夫・充実が図られている。 ・授業評価の活用や、特別支援教育支援員（学習指導員）との連携により、きめ細かな学習指導が実施されている。 ・各授業における工夫や計画的な作品鑑賞会の実施等により、主体的・対話的な深い学びが推進されている。	・教育目標を達成するために教育課程の円滑な運営が実践されている。 ・少人数指導や個に応じた指導等により、学習の質の向上が図られている。 ・グループ学習や体験学習をととして、主体的な学びの充実が図られている。
改善方策	・指導と評価の一体化及び教科横断的な学習の推進に努める。 ・BYODに備え、更なるICTを活用した授業等の工夫・充実に努める。	
生徒指導	・各授業や行事等においてコロナ感染症対策が実施され、安全な教育環境が整備されている。 ・外部関係機関との情報共有が深められ、個に応じた指導や対応が適切に行われている。 ・生徒会活動及び部活動を通じて、自己の役割や責任を果たす態度や自己有用感を育成している。	・新しい生活様式が実践され、生徒の健康安全意識の向上が図られている。 ・スクールカウンセラー等との連携が図られ、個に応じた丁寧な指導が行われている。 ・行事や部活動における地域との交流について、更なる充実を期待している。
改善方策	・危機管理意識を高め、明るく安全な教育環境の充実を図る。 ・地域社会との交流を積極的に推進し、豊かな心や健やかな体の育成に努める。 ・生徒会活動や部活動の成果や課題を整理し、合理的かつ効果的な指導の充実を図る。	
進路指導・キャリア教育	・キャリアパスポートを活用し、進路に係る取組の振り返りの充実が図られている。 ・外部団体や地域と連携した様々な進路活動を実施し、進路意識の醸成が図られている。	・個々の進路希望に応じたキャリア教育の工夫・充実が図られている。 ・各種講習等における取組や成果についての情報共有が望まれる。
改善方策	・系統的な受験・面接指導及び進学希望への計画的・組織的な指導に努める。 ・キャリアパスポートの有効活用及び積極的な進路情報の発信に努める。	

公表方法 ： 学校HP及び学校だよりに掲載し地域住民に公開する。

- 3 添付資料
- 1 令和3年度学校評価集計票（教職員自己評価及び学校関係者評価）

2 令和3年度学校教育に関するアンケート集計票（生徒及び保護者）
- 各1部

各1部

